

原子力防災対策を 充実・強化しています

県民の皆さまの安心・安全のために原子力防災対策の充実・強化に全力で取り組んでいきます。

専門委員会の開催



原子力防災訓練の実施



環境放射線監視体制の充実

(モニタリングポストを100局体制に強化、環境放射線監視センターを新たに設置など)

安定ヨウ素剤の事前配布・配備

(原発立地13道県のうちUPZ圏内で事前配布(障害や病気などの一定の要件に該当する方を対象)を行っているのは本県を含め3県のみ。)

九州電力への特別要請に基づく避難支援

(避難用福祉車両の配備・避難道路の改善など)



原子力災害時の情報伝達

(避難経路などの情報を提供するアプリの開発)



川内原子力発電所 放射性廃棄物の管理状況(1・2号機合計)

気体廃棄物

《累積放出量》

9.4×10⁹ベクレル
(平成31年4月～令和2年1月末現在)

《年間放出管理目標値》

(1.7×10¹⁵ベクレル)

液体廃棄物

《累積放出量》

ND(検出されず)
(平成31年4月～令和2年1月末現在)

《年間放出管理目標値》

(7.4×10¹⁰ベクレル)

固体廃棄物

《貯蔵量》

26,914本[※]
(令和2年1月末現在)

《貯蔵容量》

(約37,000本[※])
※200リットルドラム缶相当

使用済燃料の保管状況(令和2年1月末現在)

	1号機	2号機
使用済燃料(一部照射済燃料含む)	1,252体	930体
保管容量	1,868体	1,356体

原子力だより
かごしま
NO.138

〈発行〉鹿児島県危機管理防災局原子力安全対策課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL 099-286-2377

原子力だより かごしま

NO.138
令和元年度 第3号

令和元年度

原子力防災訓練を実施しました

原子力防災講座 その3

シリーズ3回目の今回は、避難退域時検査場所、放射線防護施設についてご紹介します。

環境放射線・温排水影響調査結果 原子力防災対策の充実・強化



薩摩川内市 藺牟田 飯盛山の桜